

令和元年度事務事業評価シートについて

1. 大磯町行政評価について

大磯町では、検証と改善に基づく効果的かつ効率的な行財政運営の推進を図るため、行政評価を行っています。行政評価では事業の目的や目標を可能な限り数値化し、その達成状況等を可能な限り客観的に測定・評価（検証）することにより、適切な事業手法の選択や、資源（人材、物、財源など）の効果的な再配分、コストダウンへの取組みなどを「PDCAマネジメントサイクル」により継続的に行うことを目指しており、その取組みのひとつとして事務事業評価シートを作成しています。

2. 事務事業評価シートについて

（1）目的

事務事業評価シートは、各課等において実施している事務事業について、事業の目的や評価、今後の方向性など、事業の詳細情報が把握できる資料となっています。所管課自らが作成することにより、自己評価を実施し、検証と改善に基づく行財政運営を図っていくことを目的に、次年度の予算編成資料などへ活用しています。

また、事業の達成目標や評価結果などを公表することにより、行政の透明性や信頼性、行政と町民との相互共通理解を高めることも目的にしています。

（2）作成対象

大磯町で実施している事業について、予算の多寡に関わらず作成していますが、国などから法令により事務処理が受託されており町に裁量の余地のない事務事業や、施設等の新設、改良に係る実施段階の建設事業、事業開始から2年が経過していない事務事業、事業費が伴わない事務事業などは作成していません。

（3）公表の流れ

